



参道狛犬研究会ニュース



1998年4月29日

第7号

編集 阿由葉郁夫
山崎 衛
発行 日本参道狛犬研究会

浦和市高砂 2-4-6
市民文化センター
TEL 048(822)2548
FAX 048(822)6472

茨城 三遊亭円丈

狛犬

探検隊

結成！

先日、土浦に狛犬を見に行き、狛犬には驚かないが、鳥居にはびっくりした。なんと関東ならどこでも見られるあの小松石が、十一社回ってゼロ！すべて御影石の鳥居。しかもその殆どが一七〇〇年代の建立。一番古いのが愛宕神社(下高津)享保五年(一七二〇年)の稲荷式鳥居。白御影だ！

「だからナンなんだ？ そんなこと言つと引掻くよ。良いかい？ 東京で最古の御影鳥居が、石浜神社(荒川区南千住)の寛延二年(一七四九年)だよ。それより、約30年前にこんな土浦に御影鳥居だよ。さあ、驚き給え！ ビックリ！……」

関東では、山梨の塩山市で古い御影鳥居を見たけど、そこは塩山御影の産地！ それ以外にこれほど集中して江戸中期の御影鳥居は、全く記憶にない。そこで円丈は、考えた。「茨城で御影と言えは？ アツ真壁町！」「この真壁と土浦はすぐ近く。しかも土浦を流れる桜川の上流が真壁！ どうも土浦の鳥居は、桜川の舟運で真壁から運ばれたのではないだろうか？ こりゃ小さな大発見。うん、おもしろい。」

そこで「茨城狛犬探検隊」を組織してこの真壁(筑波山神社)・加波山神社を見てみようと思つた。ことによると関東では、幻の江戸期建立の御影狛犬が、発見できるかも知れない。



狛犬紀行

廃仏毀釈の歴史を秘めた調神社の狛うさぎ

それからなかなか行こうと思つても遠い。秩父狛犬探検隊も組織したい。マイクロバスを仕立てて掛けた経費は、頭割り！ 人数10人以上でなことを計画！
それから「狛研」ホームページも思案中だ……

調つきのみや(神社は浦和市街地にある古社である。かつて伊勢神宮へ納める貢物調)を集める倉があったことにちなみ社名がつけられた。四季を通し、櫻の杜が美しい。社頭にある、狛うさぎ像は姿がよく、親が子を抱く姿はみる者の心をいやす。幕末の作で、万延二年板橋宿兼吉とあり、像の礎石は昭和九年とある。何故うさぎ？ なのかな？ 像と礎石の年代が何故ちがうのか？ 気になる調べてみた。
江戸末期まで境内に月山寺という寺があり月待信仰でにぎわつたらしい。月の神使は、うさぎ、これ故に

発泡スチロール狛犬あらわる！

田中邦博

昨秋のことである。湯島天神境内に、奴は何の前触れもなく現れていた。それは目も鼻もないのべらぼうで、狛犬というよりなめくじに近い外観であった。それにしても立派な台座付きである。宮司の方に伺つて、坂の上の狛犬(写真右)を本殿前に据えろとのこと。その為の実物大雛形(写真中)というのが奴の正体であった。

年末には据える予定とのことだったが、日程の確認が取れぬまま、気付いたら既に引越済(写真左)である。今迄のにらめくじ状態から一転、片や

三宅稜威夫

寺門前にうさぎ像が寄進された。寺は明治の廃仏毀釈、はいぶつきしゃくで廃寺となり、うさぎは近くの寺に移された。時がたち昭和初期に浦和で初めての区画整理事業が行われ、その完成記念として礎石が寄進され、うさぎは調神社に里帰りした。当時の人々の心で救われたわけである。狛犬は地域の変遷と時々人の心を映す鏡でもある。



咆哮、片や睨睨の勇姿である。更に台座には湯島天神らしく梅が彫ら

例会報告

平成10年3月16日(月)
於豊島区立勤労福祉会館

今回は沖縄放送のテレビ取材が入り、シーサーの特番で狛犬にもふれ、狛研のことも紹介するとの事。

一、今月の一枚

取材の為、何とリハーサル付き！一等賞は山田敏春さんの、洗髪した狛犬(写真下)に決定。アウンの彫り分けと、例を見ない見事な長い髪に拍手喝采！

二、しん平のおしゃべりコーナー
しん平師匠は狛研の顔久し振りの登壇に拍手！ 語るは八戸狛犬紀行、八戸おでんや物語！

三、円丈の狛犬講座
テーマは、石工の「ツボ丹波佐吉」。狛犬の杜4号で記した「狛犬挑戦状」に応えた奈良の佐吉狛犬報告。

四、小田原文雄講演会
阿由葉 鐸木氏による石工内藤慶雲についての発表。講談調？ に料理した鐸木能光作、大胆推理・内藤慶雲物語。語るは狛研の若きホープ三遊亭小田原文！

五、ゲストスピーチ
小松光衛氏による、日本の石工とその世界。狛犬デザイン画石

れていた。めでたしめでたし。ところで、安住の地を見つけた彼らは、元々銅鳥居前の参道狛犬だったことである。又、別に本来の本殿前狛犬も存在していたらしいのだが、そちらは何処に行つてしまったのである。実は裏手の末社戸隠神社の前に鞍替していたのである。新築した本殿に見合う大ききという基準だけで惜しくも選ばれなかった彼らの胸中は如何に。いや、それより何より、役目を終えて人知れず処分されたらしいかの発泡スチロール狛犬に合掌。(一九九七年没)

興味紳士録

第一回 狛ねずみの巻

まずは円丈師匠も本で取り上げていた大阪敷津西の大国神社。大黒天の神使ということである。夕方には閉まつてしまつて、明るいうちに参拝したい。昭和五十九年作。

次に京都東山の大豊神社。意外と小さいが、表情は可愛い。こちらは昭和四十四年建立(写真右)ここには狛とんびもいたが、西の時に紹介することにしたい。



取りは東京都杉並区堀ノ内の福相寺。嘉永三年のもので、俵付きである。(写真左)昭和十一年、白山から移転とのこと。実に芸術的な一品。大きさはカピバラ並。本堂の大黒天脇にも金色の狛ねずみがいるのでお見逃しなく。(田中邦博)

乱筆狛犬探偵団

JR東日本の車内広告、仙台フーリーパークで塩竈神社の写真がボスターになっている。そこに小さく写っている狛犬、あれが円丈本の、仙台口カルタイプ(の祖)と毎朝の満員電車で楽しんでいる。フィールドワークの人氣はスゴイ！ 申し込み殺到で追加開催決定！ 5月31日(日)です。お知り合いにおすすめて！
大評判！ 円丈師匠のしん平師匠デザインによる新作狛犬手ぬぐい。欲しい方は今月の一枚にドンドン出して下さい。運が良ければもらえます。
狛研例会 発表者募集！！ 私の狛犬巡礼コーナーで発表者を募集中。時間10分。狛犬に限らず石造物又は狛犬周辺で可。但しノーギャラ、懇親会招待。連絡は事務局まで(阿)



乙女八幡宮(栃木県小山市乙女)文化10年(一八一三)

細工雛形図解の写真をお持ちいただいた。狛犬制作現場の写真を今月の一枚に特別参加。